

九品仏川緑道桜再生実行計画現地調査会を開催しました

令和2年(2020年)10月22日(木)に九品仏川緑道桜再生事業現地調査会を開催しました。九品仏川緑道の桜の問題点、それらを改善するための将来像(案)について樹木医が説明し、ご質問・ご意見をいただきました。また、現地調査会参加者と沿道の住民の皆様は桜の将来像や管理についてのアンケートを実施し、ニュースレターにまとめましたので皆様にお知らせします。



九品仏川緑道・調査ポイント

- ① 高架付近の樹勢不良問題
 - ・桜の根と舗装の攻防、土の硬さと日照
- ② 住宅地での共存問題
 - ・低木と桜と電線、人や車の通行
- ③ 現状の問題、適切な植栽間隔
 - ・九品仏川緑道の桜が抱える病害
- ④ 踏切手前の景観改善
 - ・通路確保と桜の健全育成の両立

アンケート結果 (20名からご回答いただきました)

アンケートで、九品仏川緑道は、地域の方が身近で桜を楽しめること、四季折々の花や風情を楽しめることを喜び、そしてそれらのことは気持ちを明るくし心のいやしになっていると伝えていただきました。

品種の統一性について

- ・1~2種で統一した方がよい 6票 (品種はコヒガン、コシノヒガン)
 - ・様々な品種(3種以上)を混ぜた方がよい 14票
- <人気品種ベストナイン>
- 9票 ベニユタカ コヒガン シロタエ
 - 6票 ギョイコウ ウコン コシノヒガン
 - 5票 ヤエベニヒガン オモイガワ ケイオウザクラ

桜の配置(踏切手前の景観改善)について

- ・現在の桜の配置のままがよい(千鳥配置) 9票
- ・歩行空間を確保する配置がよい(一列配置) 9票

地域住民参加による桜の保全活動(桜守活動)について

- ・興味がある 6票
- ・少し興味がある 11票
- ・参加したくない 2票

ご意見 キーワード掲示板

九品仏川緑道の将来

- ▼ 持続可能な景観を
- ▼ 桜にも人にも、生きやすい場所に

桜について

- ▼ 緑道の土壌や気候に合う、丈夫で成長の遅い種類を
- ▼ 品種をいろいろにして、ソメイヨシノが終わっても他の品種が咲き、長い間楽しめるように
- ▼ 世田谷区の緑道と統一感を味わえる桜を

桜の管理について

- ▼ 1本ごとに“里親”を募集し、日々の観察や異変の報告、簡単な手入れ等を担ってもらおう
- ▼ 花びらから枯葉まで、緑道の掃除が大変、でも楽しみでもある。常にきれいにしておくことが大切

歩道の整備

- ▼ 現状では緑道の砂が車道に流れたり飛ばされたり、地面の素材も選んで欲しい
- ▼ 緑道と車道、両方に良い植樹計画を

調査会での ご意見

- 桜についたキノコは取ってもよいですか?
⇒取らないでください。腐朽の目印になります。キノコの本体は樹木内部に菌糸として存在します。キノコを取っても腐朽を止めることにはなりません
- 歩道は透水性の舗装材がよいです
- 枝が伸びて暗い。一方で、大きいサクラはいいなとも思います
- 枝・枯葉が落ちてこないようにしてほしいです

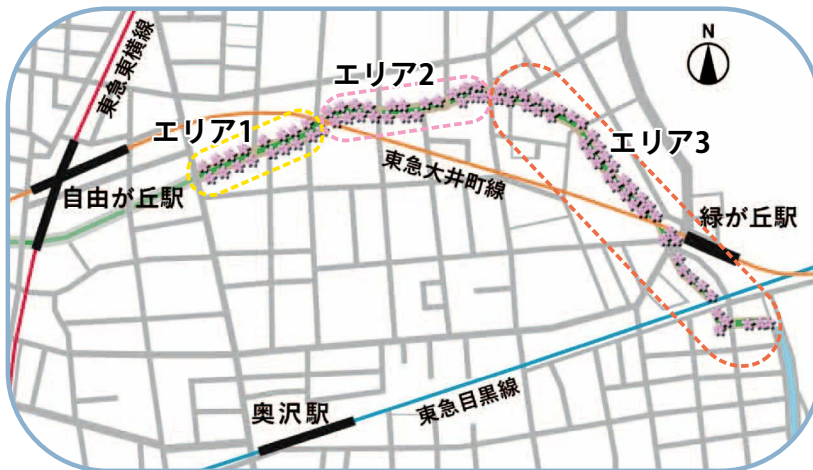
皆様のご意見から〈桜並木の再生方針〉を次のように考えました

九品仏川緑道は川の上にコンクリートの蓋をかけて土を盛った人工地盤で、根を張れる範囲が限られている

調査ポイント・桜の問題点	原因	改善方法の提案
1 樹勢不良、幹の傾き、巻根、舗装に亀裂、縁石の押出し	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 土壌が固く、水分も少ない ▼ 建物や通路が近接し、根、枝が伸長できる空間が狭い 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 植え柵を大きくして土壌改良 ▼ 小型品種の桜への植替え⇒将来像の提案①
2 住宅地で生育スペースが狭い	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 深植えで根は酸素と水分が不足 ▼ 低木、中木の過密植栽で根が競合 ▼ 電線と樹冠が接触 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 小型品種の桜への植替え ▼ 小低木、地被類に植替え
3 植栽間隔が狭く新たに植えた若木も衰弱、成長不良	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 老木の多くが病虫害にかかっている ▼ 枝どうしが接触して菌が伝搬 ▼ 空気中、土中の菌感染 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 老木の衰退原因把握と対策 ▼ 適切な間隔での若木植付け ▼ 若木植付け後の適切な維持管理
4 剪定で樹形が崩れ、景観悪化、根上がりで歩行の障害	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 踏圧による土壌の固結と根に傷、巻根による壊死で樹勢衰退 ▼ 通行の安全のため枯枝剪定が必要 	<ul style="list-style-type: none"> ▼ 通路確保と桜の健全育成の両立⇒将来像の提案② ▼ 小型品種の桜への植替え

将来像の提案

① 長く桜を楽しめる緑道に…



エリア1. 自由通りから踏切まで
コヒガン、コシノヒガン、ヤエベニヒガンのエリアとします

エリア2. 踏切から緑が丘2-5先
コヒガン、コシノヒガン、ヤエベニヒガンに加えて順に遅咲きの桜を混ぜていきます

エリア3. 緑が丘1-21先から呑川本流緑道
アンケートで人気だった遅咲きの桜を中心に植替えます



コヒガン
3月中旬

コシノヒガン
3月中旬

ヤエベニヒガン
3月中旬

ベニユタカ
4月中旬

シロタエ
4月中旬

コケシミズ
4月中旬

オモイガワ
4月中旬

ギョイコウ
4月下旬

●桜の写真提供: (公財)日本花の会

② 人と桜にやさしい緑道に…

- ・桜の適切な植栽間隔を確保します
- ・植え柵を大きくし、楽しく歩きやすい緑道にします



お知らせ

○今回ご提案した桜並木の将来像につきまして、皆様のご意見を伺いたいと思っております。下記のお問い合わせ先までご連絡いただけますと幸いです。募集期間は令和2年12月14日までとさせていただきます。

○1月には、皆様のご意見を生かした九品仏川緑道サクラ再生実行計画(案)をご提案する予定です。

お問い合わせ先

目黒区都市整備部みどり土木政策課

電話:03-5722-9745 FAX:03-3792-2112

メール:midoridoboku04@city.meguro.tokyo.jp

